



高知県立盲学校



校長室だより



No.4

平成 30 年 7 月 4 日

平成 30 年度 第 55 回全国特別支援学校長研究大会

6 月 21 日、22 日の両日開催されました国立オリンピック記念総合研修センターでの全国特別支援学校長研究大会に参加してまいりました。本来なら全国から約 900 名の特別支援学校の校長が集まる会ですが、今年は大阪の校長先生方が先日の地震のため学校待機ということで、例年よりは少ない人数での会となりました。来賓の皆様のご挨拶や、講師の先生のお話の最初には必ず大阪の地震のことに触れられ、学校としての危機管理の重要性を改めて感じたところです。

大会では最新の国の教育行政の動向や施策等について情報を得るとともに、新しい学習指導要領改訂のポイントの一つである「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた学校経営の在り方等について研究協議を行ってまいりました。「障害者の生涯を通じた多様な学習活動の充実について」や「障害のある児童生徒のスポーツ実施機会の拡大に向けて」など、卒業後も見据えた取組の重要性が話されました。2 日目の全国盲学校長会では、全国共通の課題である盲学校の生徒数の少人数化に対して、信頼され、選択される盲学校になるため、どのような取組を進めていくべきか新学習指導要領の主旨も踏まえながら研究協議を行いました。たいへん学びの多い、多くの刺激を受けた 2 日間でした。

色んな音が聞こえてきます♪

7 月に入り今週は早や、期末テストが実施されています。それぞれのクラスや教科において 1 学期の学習の成果を振り返り、まとめを行っているところです。

♪音楽室では、中学部の生徒 2 名がお琴の演奏をしていました。久しぶりに聞く琴の優しい音色で、二人の生徒は指に「爪」をつけ、弦を一本一本でいねいに弾いて音を出しながら、それぞれの音色を味わうことができていました。

♪梅雨の晴れ間に体育の水泳の授業。水しぶきの音、歓声、プールから聞こえてくる楽しそうな音を耳にすると、一緒に泳ぎたくなりますね。夏季休業中にはプール開放期間もあります。ぜひご利用ください。

♪理療科の「はりの基礎実習」、教員を患者さんに見立てて鍼をうつ練習をしていました。教員からのアドバイスをしっかり聞き、右手の人差し指で鍼の頭を慎重に叩く時、実際には音は聞こえてきませんが、見ている方に力が入ってしまい一打一打音が聞こえてきそうでした。

♪点字を打つ道具であるパーキンスブレーラー。キーを打つガシャッという音と、行を変える時のチーンという音、リズムカルにスムーズに、そして何よりも正確に打つことができるよう練習が続きます。頑張れ！



平成 30 年度全国盲学校 P T A 連合会 第 57 回 総会並びに研究協議会



全特長の前日の 6 月 20 日、同じくオリンピックセンターで開催されました P T A の全国大会に会長の笠松さんと副会長の井上さんと参加してまいりました。

総会の後の研修会では、自らを視覚障害教育の広告塔とおっしゃり、当日は蛍光黄緑色のシャツ姿の慶應義塾大学の中野先生の講演を聞くことができました。「インクルーシブ教育時代の視覚障害教育：盲学校や当事者団体を活用して学習の質を向上させよう！」という演題で、学校として果たすべき役割を再確認することができました。

開かれた学校づくり推進委員会

6 月 29 日（木）、本校の開かれた学校づくり推進委員会が開催されました。本校が福祉避難所に指定されたこともあり、地域の防災関係の新しい委員さんにも入っていただきご意見をうかがいました。「地域が応援しがいいのある盲学校」に向けて、委員の皆様、地域の皆様には学校のことや取組を知っていただけるよう今まで以上に情報を発信していきたいと思います。

学校の情報発信の一つとして、学校での出来事や行事、取組について学校ホームページに「学校日記」を掲載しています。毎日更新とはいきませんが、ご覧になってください。

<http://www.kochinet.ed.jp/mo-s/>

